

呼吸器内科

1. 呼吸器センターについて

平成 19 年 6 月に、呼吸器内科と呼吸器外科が統合して呼吸器センターが設立され、呼吸器疾患に対するシームレスな診療を目指している。なお、平成 27 年 4 月 1 日から診療報酬上は呼吸器内科と外科に分けてそれぞれの診療実績を把握しやすくした。

【呼吸器センターの構成】

呼吸器センター長： 福井部長（内科系部門統括）
副センター長： 黄部長（外科系部門統括）
内科系病棟医長： 丸毛副部長
外科系病棟医長： 大竹副部長

【センター全体での業務】

- 合同カンファレンス（月曜日 18 時から）
呼吸器センター（呼吸器内科、呼吸器外科）、放射線科（治療部門）、腫瘍内科が合同で主に肺癌患者の集学的治療について検討を行っている。
- 外来
外来 A ブロック 9 診、10 診、19 診、20 診において、呼吸器センター内科と外科が並列して外来診療を行うことで、密接な診療協力をはかる。
基本的に A ブロック 10 診は内科・外科部長が紹介患者や予約患者を中心に診察。初診患者は各外来で分担して診察を行っている。

呼吸器センター 1 診（A ブロック 10 診）

月曜日から金曜日までは部長が担当。土曜日は内科系初診を中心に交代で担当した。

《呼吸器センター 1 診担当医師》

| | | | | | |
|-------|----|-------|----|----|--------|
| 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
| 黄（外科） | 福井 | 黄（外科） | 福井 | 福井 | 交代（内科） |

呼吸器センター 2 診（A ブロック 9 診）

月曜・火曜・木曜の午前中は初診外来、土曜日は外科系初診外来（交代）である。月曜・火曜・木曜の午後と水曜日は、呼吸器センタースタッフが 15 分単位で自由に予約を入れることができる。外来化学療法中の患者や入院中検査の結果説明などで時間を要する診療に利用されている。

《呼吸器センター 2 診担当医師》

| | | | | | |
|---------|------------|-----|--------|---------|---------|
| 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
| 山城/自由枠 | 小谷/自由枠 | 自由枠 | 網本/自由枠 | 大竹 (外科) | 交代 (外科) |
| 井上 (午後) | 呼吸器交代 (午後) | | | | |

呼吸器センター 3 診 (Aブロック 20 診)

主に内科系スタッフが予約患者を中心に、初診患者も一部担当した。水曜日は内科スタッフが交代で担当している。

《呼吸器センター 3 診担当医師》

| | | | | | |
|----|----|----|------|----|----|
| 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
| 丸毛 | 片山 | 交代 | 原/丸毛 | 井上 | |

呼吸器センター 4 診 (Aブロック 19 診)

午前中は、初診患者と予約患者を中心に、午後は予約患者を中心に診療した。

《呼吸器センター 4 診担当医師》

| | | | | | |
|----|----|---------|----|-------|----|
| 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
| 北島 | 島 | 住友 (外科) | 糸谷 | 白田/片山 | |

呼吸器センター金曜初診 (Aブロック 23 診) 金曜のみ

午前中のみ、初診患者と予約患者を中心に診療した。

《呼吸器センター金曜初診担当医師》

| | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
| | | | | 白石 | |

2. 呼吸器内科の基本方針

呼吸器内科は、「患者さんに近い医療」を診療の根幹にしたいと考える。医療情勢がめまぐるしく変わる中、この軸足だけはぶれないように心がけたい。

当部門の基本方針は以下の通りである。

- 呼吸器センターとして、呼吸器外科と密接に連携を図り、呼吸器疾患で苦しむ患者さんに最良の診療を提供する。
- 内科の 1 診療科として、他の内科診療科などと良好な連携のもとに全人的な診療を心がける。

- 他職種と協同して行うチーム医療に重点を置く。
- 積極的に新しい知見や技術を取り入れ、最新の医療を適切に行うために努力を惜しまない。

3. 呼吸器内科のスタッフ紹介

これまで病棟医長として活躍された櫻本副部長は、平成 29 年 3 月末で退職し、4 月から大和郡山病院呼吸器内科診療部長として赴任された。丸毛副部長が新たに病棟医長になった。河島医員は 4 月から滋賀医科大学の大学院に進学した。島医師・白田医師が後期レジデントから医員に昇格した。以上、副部長・医員 7 名、後期レジデント 7 名の体制で臨んだ。科の性格上、緊急入院が非常に多く、スタッフの過重労働が大きな問題であったが、呼吸器内科を志望してくれる後期レジデントが徐々に増えて 7 名となり、大きな戦力となっている。

なお、福島県立医科大学会津医療センター漢方医学講座の鈴木雅雄先生には、第 12 研究部の客員研究員として週 1 回 COPD 患者に対して鍼治療の臨床研究を継続してもらおうとともに、入外患者の漢方治療や鍼治療に関して指導してもらっている。

| 医 師 | | 資格など |
|-------------------|------------------------------|--|
| 福井 基成 ふくい もとなり | 副院長 呼吸器センター長 呼吸器内科主任部長 | 京都大学医学博士、京都大学医学部臨床教授 日本内科学会指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医・代議員 呼吸ケア・リハビリテーション学会代議員 |
| 丸毛 聡 まるも さとし | 副部長 病棟主任 | 日本結核病学会結核非結核性抗酸菌症認定医 日本内科学会認定医、日本化学療法学会認定医 Infection Control Doctor、産業医 |
| 糸谷 涼 いとたに りょう | 副部長 | 日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本旅行医学会旅行医学認定医 |
| 片山 優子 かたやま ゆうこ | 副部長 | 日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 |
| 井上 大生 いのうえ だいき | 医員 | 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医 |

| | | |
|--------------------|---------|-------------------------------|
| 北島 尚昌 きたじま たかまさ | 医員 | 日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 |
| 島 寛 しま ひろし | 医員 | 日本内科学会認定医 |
| 白田 全弘 しらた まさひろ | 医員 | 日本内科学会認定医 |
| 小谷 アヤ こたに あや | 後期レジデント | 日本内科学会認定医 |
| 原 玲奈 はら れいな | 後期レジデント | 日本内科学会認定医 |
| 山城 春華 やまき はるか | 後期レジデント | 日本内科学会認定医 |
| 白石 祐介 しらいし ゆうすけ | 後期レジデント | 日本内科学会認定医 |
| 網本 久敬 あみもと ひさたか | 後期レジデント | 日本内科学会認定医 |
| 宇山 倫弘 うやま みちひろ | 後期レジデント | |
| 林 優介 はやし ゆうすけ | 後期レジデント | |
| 鈴木 雅雄 すずき まさお | 客員研究員 | 福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座准教授 |

4. 呼吸器内科 外来実績

平成 29 年度外来患者数：28,752 名（2,396 名／月）（入院中外来を含む）

- 初診患者 2,576 名
- 地域医療室経由事前予約紹介患者数 500 名。
- 外来化学療法 のべ 1226 件実施（腫瘍内科と協同して実施）

内科外来を受診される患者としては、気管支喘息、慢性咳嗽、COPD、肺癌、睡眠時無呼吸症候群、慢性呼吸不全、気管支拡張症、非結核性抗酸菌症、間質性肺炎などが多い。最近、特に間質性肺炎や非結核性抗酸菌症の患者が増加している。また、肺結核と診断される患者も依然として多い。

なお、2006 年に当科と当院薬剤部、北区北支部薬剤師会、そして地域の保険薬局が協同して立ち上げた「吸入指導ネットワーク」により、保険薬局において統一された吸入指導を受けることが可能となり、喘息や COPD 患者の吸入手技や吸入治療アドヒアランスの向上などに成果を上げている。

5. 呼吸器内科 入院実績

平成 29 年度入院患者数：1665 名（月平均 138.7 名）

- 平均年齢 70.8 歳
- 検査目的 324 名、治療目的 1,341 名
- 平均在院日数 15.3 日（検査目的 3.62 日、治療目的 18.2 日）
- 緊急入院患者 778 名（全体の 46.7%）
- 10 東・9 西以外の病棟に入院する患者 569 名（34.1%）

肺癌、肺炎、睡眠時無呼吸症候群、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、喘息・COPD、呼吸不全などによる入院が多い。

呼吸器内科の病床数としては、10 階東病棟の 40 床と 9 階西など他病棟を加えた 52 床が定員であったが、実際には定員を大幅に超えることが多い。

平成 29 年度は入院患者が大幅に増加した。特に緊急入院が前年度に比べて約 150 件増えた。

主治医は基本的にスタッフか 5 年目のレジデントが務め、後期レジデントやスーパーローテーターが担当医として研修を行った。

入院患者の疾患別内訳は以下の通りである。

| 疾患 | H27 患者数 (名) | H28 患者数 (名) | H29 患者数 (名) |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| 肺癌など悪性腫瘍（疑いを含む） | 515 | 490 | 560 |
| 良性腫瘍 | 2 | 1 | 0 |
| インフルエンザ・上気道炎・気管支炎 | 11 | 16 | 17 |
| 肺炎 | 221 | 248 | 367 |
| 敗血症 | 3 | 6 | 4 |
| 肺膿瘍・敗血症性肺塞栓症など | 18 | 21 | 22 |
| 肺真菌症（アスペルギルスなど） | 11 | 10 | 6 |
| 結核（胸膜炎を含む） | 15 | 13 | 17 |
| 非結核性抗酸菌症 | 23 | 32 | 35 |
| 気管支拡張症 | 16 | 16 | 19 |
| 気管支喘息 | 50 | 60 | 65 |
| COPD | 17 | 22 | 20 |
| 呼吸不全 | 82 | 98 | 116 |
| 心不全・右心不全 | 8 | 12 | 6 |

| | | | |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 肺塞栓症・肺高血圧症 | 1 | 0 | 2 |
| 睡眠時無呼吸症候群 | 128 | 138 | 166 |
| 気胸 | 24 | 21 | 28 |
| 胸水・胸膜炎・膿胸 | 19 | 26 | 29 |
| 間質性肺疾患・びまん性肺疾患 | 100 | 129 | 126 |
| サルコイドーシス（疑いを含む） | 13 | 10 | 14 |
| 肺血管炎 | 7 | 1 | 5 |
| 血痰・喀血・肺胞出血 | 13 | 13 | 9 |
| 気道狭窄・気道異物 | 1 | 5 | 0 |
| 胸部異常陰影・無気肺 | 11 | 6 | 6 |
| その他 | 21 | 30 | 26 |
| 合計 | 1330 | 1443 | 1665 |

6. 呼吸器内科 検査実績

- **気管支鏡検査（内視鏡室で実施分）：351 件**
BAL 98 件、TBB 154 件、TBLB 82 件、EBUS-TBNA 15 件、EBUS-GS 98 件
気胸合併は 0 件であった。
- **CT ガイド下生検：13 件**
肺末梢病変などでは、最初から胸腔鏡下肺生検を行う例が増え、CT ガイド下生検は減少傾向である。
- **呼吸機能検査**
精密呼吸機能 302 件、スパイロ 1519 件、気道可逆性試験 714 件
- **呼気 NO 検査：2082 件**
- **睡眠呼吸検査**
ポリソムノグラフィ（PSG）154 件
SpO₂ モニタリング 246 件
慢性呼吸不全患者に対して経皮二酸化炭素分圧測定を併用した PSG を行い、睡眠呼吸障害（睡眠低換気）の正確な把握を行っている。

7. 呼吸器内科診療の動向

肺癌

治療入院のうち、最も多いのが肺癌患者である。

進行非小細胞肺癌の診断・治療は近年大きく変わりつつある。特に、非扁平上皮肺癌においては、まず EGFR 遺伝子変異や ALK 遺伝子転座の有無を確認し、これらが陽性の患者に対しては、first line からチロシンキナーゼ阻害薬が積極的に用いられ、良好な診療成績を上げている。一方で、2015 年 12 月にニボルマブが切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌に保険適用となったのを皮切りに、がん免疫療法が急速に臨床の場に広がってきている。ただし、多彩な免疫関連副作用（irAEs）が問題になっている。

呼吸器感染症

高齢者の肺炎患者は、栄養障害や嚥下障害、ADL 低下などを合併していることが多い。入院初期から栄養サポートやリハビリテーションを積極的に導入している。また、退院後の介護や生活サポートを要する患者も多く、入院の早い段階から、地域医療コーディネーターと連携をとり、退院後の生活がスムーズに行くように心がけている。水曜日昼に開催される病棟カンファレンスには、医師・看護師に加えて、地域医療コーディネーター・ケースワーカー、薬剤師、理学・作業療法士、栄養士などが集まり、様々な問題点について合同で協議している。ただし、独居老人や老々介護の場合、肺炎が治っても在宅療養に移行できず、転院待ちの状態が長期間続くことが問題となっている。

その他、**非結核性抗酸菌症**も中年以降の女性を中心に増えており、特に空洞を伴う難治性の場合、長期間の入院による安静および点滴治療を余儀なくされることがある。

びまん性肺疾患

間質性肺炎などびまん性肺疾患の診断・治療のための入院が多くなっている。間質性肺炎では、特発性肺線維症（IPF/UIP）より、鳥関連慢性過敏性肺炎や膠原病肺との鑑別が必要な患者が多い。初診時から詳細な環境についての問診や血液検査を行い、慢性過敏性肺炎を疑う患者では、自宅などの環境調査を行い、羽毛製品の除去や環境整備を積極的に行っている。これらにより改善を示す患者も多い。これらによっても改善が乏しい場合には、ステロイドやシクロスポリン A による治療を試みている。抗線維化薬としてピルフェニドンやニンテダニブが適用となるような典型的な IPF/UIP の患者は少ない。

睡眠呼吸障害

閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対して、鼻 CPAP 治療を導入した件数は着実に増加している（平成 29 年度、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料算定患者は 254 名）。これらの患者は月 1 回の定期通院が必要であり、外来混雑の要因となっている。地域医療サービスセンターの協力の下、**OSAS 地域連携クリニカルパス**により、開業医の先生との連携を試みている。

なお、中等症までの閉塞性睡眠時無呼吸症候群で、特に下顎が小さく後退している患者については、提携先のさちこ歯科で口腔内装置（OA）を作成して治療に用いており、良好な効果を上げている（平成 29 年度は 48 名紹介）。

呼吸不全・その他

慢性呼吸不全の患者については、薬物療法に加えて積極的に呼吸リハビリテーションを導入している。また、在宅酸素療法（平成 29 年度指導管理料算定患者は 126 名）、在宅人工呼吸療法（NPPV）（平成 29 年度指導料算定患者 55 名）の導入時には、長時間記録可能な SpO₂ モニタリングや経皮 CO₂ モニタリング、ポリソムノグラフィーなどを用いて正確な病態把握を行い、患者に適した酸素流量の決定や NPPV 機器設定を行っている。特に REM 睡眠時に低換気を生じる患者に対して積極的に NPPV を導入して良好な成績を上げつつある。

在宅療養に移行する場合は、地域医療コーディネーターを通じて、かかりつけ医や訪問看護、在宅介護と密な連携を図っている。

鍼治療・漢方治療の積極的な導入も図っている。現在、明治国際医療大学の鈴木雅雄客員研究員を中心に、COPD 患者に対する長期鍼治療の効果を見るための臨床研究を外来で実施中である。一方、漢方治療に関しても、鈴木研究員の指導の下、一般診療に積極的に導入している。特に呼吸器疾患の患者は、心身のバランスを崩している方も多く、漢方治療がしばしば著効している。

8. 呼吸器内科平成 29 年度業績 (2017.4.1~2018.3.31)

【呼吸器内科主催・担当研究会】

第 65 回呼吸器疾患同好会 2017. 6. 7. 大阪市北区

第 29 回地域包括呼吸ケアを考える会 2017. 6. 17 . 大阪市北区

第 5 回呼吸器専門医のためのとことんセミナー2017. 10. 13. 大阪市北区

第 5 回ネーザルハイフロー療法勉強会 2017. 11. 11. 京都市中京区

第 30 回地域包括呼吸ケアを考える会 2017. 11. 25. 大阪市北区

第 11 回 Osaka Respiratory Expert Seminar 2017. 12. 9. 大阪市北区

第 66 回呼吸器疾患同好会 2017. 12. 6. 大阪市北区

第 3 回大阪 NIP ミーティング 2018. 1. 18. 大阪市北区

第 7 回近畿 LAMP 研究会 2018. 3. 3. 大阪市北区

第 3 回 K・K Forefront Meeting on Lung Cancer2018. 3. 7. 大阪市北区

第 9 回大阪呼吸器肺高血圧症フォーラム 2018. 3. 9. 大阪市中央区

第 12 回吸入指導ネットワーク講習会 2018. 3. 24. 大阪市北区

第 7 回近畿 LAMP 研究会. 2018. 3. 3. 大阪市北区

第 3 回 K・K Forefront Meeting on Lung Cancer. 2018. 3. 7. 大阪市北区

第 9 回大阪呼吸器肺高血圧症フォーラム. 2018. 3. 9. 大阪市中央区

第 12 回吸入指導ネットワーク講習会. 2018. 3. 24. 大阪市北区

【誌上発表】

原著・症例報告

Yamanashi K、 Marumo S、 Sumitomo R、 Shoji T、 Fukui M、 Katayama T、 Huang CL. Long acting β 2-adrenoceptor agonists are not associated with atrial arrhythmias after pulmonary resection. J Cardiothorac Surg. 2017 May 19;12(1):35. doi: 10.1186/s13019-017-0606-4. PMID: 28526052

Kumagai S、 Ito A、 Hashimoto T、 Marumo S、 Tokumasu H、 Kotani A、 Yamaki

H, Shirata M, Furuuchi K, Fukui M, Ishida T. Development and validation of a prognostic scoring model for Mycobacterium avium complex lung disease: an observational cohort study. *BMC Infect Dis.* 2017 Jun 19;17(1):436. doi: 10.1186/s12879-017-2544-0. PMID: 28629426

Takamatsu K, Marumo S, Fukui M, Hata A. Safety and efficacy of anti-influenza drugs, intravenous peramivir against influenza virus infection in elderly patients with underlying disease. *J Microbiol Immunol Infect.* 2017 Aug;50(4):541-544. doi: 10.1016/j.jmii. 2016.11.006. Epub 2017 Jun 26. PMID: 28720319

Yamanashi K, Marumo S, Fukui M, Huang CL. Nontuberculous Mycobacteria Infection and Prognosis after Surgery of Lung Cancer: A Retrospective Study. *Thorac Cardiovasc Surg.* 2017 Oct;65(7):581-585. doi: 10.1055/s-0036-1584883. Epub 2016 Jul 5. PMID: 27380380

Kumagai S, Marumo S, Arita M, Yamanashi K, Sumitomo R, Otake Y, Shoji T, Fukui M, Katayama T, Okumura N, Huang CL. Development and validation of a preoperative prognostic index independent of TNM stage in resected non-small cell lung cancer. *BMC Pulm Med.* 2017 Dec 4;17(1):166. doi: 10.1186/s12890-017-0529-9. PMID: 29202834

Takashima R, Takamatsu K, Shinkawa Y, Yagita M, Fukui M, Fujita M. Dermatomyositis Associated with Lung Neuroendocrine Carcinoma. *Intern Med* 2017 56 719-724

Takamatsu K, Marumo S, Takagi T, Fukui M, Komuta K, Mio T, Hirabayashi M. Phase I/II study of weekly paclitaxel and carboplatin with concurrent radiation therapy in locally advanced non-small-cell lung cancer: Kansai Clinical Oncology Group T0401. *Integr Mol Med* 2017 4 1.

Fujimoto D, Yoshioka H, Kataoka Y, Morimoto T, Kim YH, Tomii K, Ishida T, Hirabayashi M, Hara S, Ishitoko M, Fukuda Y, Hwang MH, Sakai N, Fukui M, Nakaji H, Morita M, Mio, T, Yasuda T, Sugita T, Hirai T. Efficacy and safety of nivolumab in previously treated patients with nonsmall cell lung cancer: A multicenter retrospective cohort study. *Lung Cancer* 2018 119 14.

Kitajima T, Marumo S, Shima H, Shirata M, Kawashima S, Inoue D, Katayama Y, Itotani R, Sakuramoto M, Fukui M. Clinical impact of episodic nocturnal hypercapnia and its treatment with noninvasive positive pressure ventilation in patients with stable advanced COPD. Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2018 Mar 6; 13: 843-853. doi: 10.2147/COPD.S153200. eCollection 2018.

総説

福井基成. 人気の診療科紹介 田附興風会医学研究所北野病院呼吸器センター内科部門 (呼吸器内科). 診断と治療 2017 105(8) 1080-1083.

鈴木雅雄. 成人喘息と鍼治療. 臨床針灸 2017 32 (2) 1-8.

【口頭発表】

学会報告 (一般演題)

井上大生、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、片山優子、糸谷 涼、丸毛聡、福井基成：細菌性肺炎による入院患者におけるプレセプシンとプロカルシトニンの差異の検討. 第91回日本感染症学会総会. 2017. 4. 6. 東京

井上大生、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、片山優子、糸谷 涼、丸毛聡、福井基成：骨髄異形成症候群に合併した器質化肺炎のステロイド治療中に発症した続発性肺胞蛋白症の一例. 第57回日本呼吸器学会総会. 2017. 4. 21. 東京

北島尚昌、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、片山優子、糸谷涼、櫻本稔、丸毛聡、福井基成：COPD患者における前頭葉機能低下の臨床的意義の検討. 第57回日本呼吸器学会学術講演会. 2017. 4. 21. 東京

山城春華、丸毛聡、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、島寛、白田全弘、河島暁、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：ANCA陽性の鳥関連慢性過敏性肺炎についての検討. 第57回日本呼吸器学会学術講演会. 2017. 4. 21. 東京

丸毛 聡、山梨恵次、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、白田

全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷 涼、福井基成、黄政龍：肺非結核性抗酸菌症合併が非小細胞肺癌術後の予後に与える影響：後方視的コホート研究．第 57 回日本呼吸器学会学術講演会．2017. 4. 22. 東京

丸毛 聡、山梨恵次、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷 涼、福井基成、黄政龍：慢性閉塞性肺疾患合併非小細胞肺癌において周術期吸入ステロイド投与は術後肺炎を増加させない：傾向スコア解析を用いた検討．第 57 回日本呼吸器学会学術講演会．2017. 4. 22. 東京

島寛：北野病院における再生検の現状～liquid biopsy を踏まえて～．呼吸器 NEXT. 2017. 5. 26. 大阪

網本久敬、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：胸部 CT で縦隔軟部陰影・気道壁肥厚を認めた 1 例．第 62 回大阪北肺疾患勉強会．2017. 5. 29. 大阪

宇山倫弘、林 優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：防水スプレー使用後に急性肺障害をきたした 3 例．第 65 回呼吸器疾患同好会. 2017. 6. 7. 大阪

丸毛 聡、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、小谷アヤ、島 寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷 涼、福井基成：気腫合併肺線維症におけるハト IgG 抗体価の意義．第 66 回日本アレルギー学会学術大会．2017. 6. 16. 東京

北島尚昌、宇山弘倫、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：症例から考えるハイフローセラピーの効果と実践．第 29 回地域包括呼吸ケアを考える会．2017. 6. 17. 大阪

山城春華、井上大生、福井基成：進行期のびまん性肺疾患による慢性Ⅱ型呼吸不全に対して在宅ハイフローセラピーを導入した 1 例. 第 29 回地域包括呼吸ケアを考える会. 2017. 6. 17. 大阪

白石祐介、丸毛聡、宇山倫弘、林優介、網本久敬、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：副鼻腔 CT による喘息患者の評価の有用性. 第 66 回アレルギー学会学術大会．2017. 6. 16-18. 東京

糸谷涼、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：Cisplatin；Pemetrexed 療法を契機に肝性脳症を来した肺腺癌の 1 例. 第 106 回日本肺癌学会関西支部学術集会. 2017. 6. 24. 大阪

★優秀演題賞 受賞

片山優子、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：急性期病院呼吸器センターにおける終末期呼吸困難感への対応に関する検討. 第 22 回日本緩和医療学会学術大会. 2017. 6. 23-24. 横浜

山城春華、北島尚昌、山本真義（北野病院 神経内科）、中根俊成、向野晃弘（熊本大学医学部附属病院 神経内科）、樋口理、前田泰宏（国立病院機構長崎川棚医療センター. 西九州脳神経センター 臨床研究部）、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、島寛、白田全弘、河島暁、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、櫻本稔、福井基成：抗ganglionic acetylcholine receptor (AChR) 抗体陽性の傍腫瘍性自己免疫性自律神経節障害が疑われた小細胞肺癌の 1 例. 106 回本肺癌学会関西支部学術集会. 2017. 6. 24. 大阪

原伶奈、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：ベーチェット病に再発性多発軟骨炎の合併が疑われた 1 例. 第 119 回日本結核病学会/第 89 回呼吸器学会 近畿地方会. 2017. 7. 8. 大阪

山城春華、藺誠（北野病院 消化器内科）、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：肺結核治療中に腹部リンパ節腫大による閉塞性黄疸を発症した 1 例. 第 119 回日本結核病学会近畿地方会/第 89 回本呼吸器学会 近畿地方会. 2017. 7. 8. 大阪

白石祐介、北島尚昌、中野友美子、矢野景子、宇山倫弘、林優介、網本久敬、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：肺腫瘍・鼻中隔潰瘍を認め、尿所見は軽微ながら腎生検で確定診断に至った多発血管炎性肉芽腫症の 1 例. 第 119 回日本結核病学会/第 89 回呼吸器学会 近畿地方会. 2017. 7. 8. 大阪

林優介、宇山倫弘、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：難治性気管支喘息

に対してメポリズマブをとよしたところ好酸球性中耳炎にも奏功した1例. 第119回日本結核病学会/第89回呼吸器学会 近畿地方会. 2017.7.8. 大阪

宇山倫弘、林 優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：防水スプレー使用後に急性肺障害をきたした3例. 第119回日本結核病学会/第89回日本呼吸器学会 近畿地方会. 2017.7.8. 大阪

網本久敬、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：胸部CTで縦隔軟部陰影・気道壁肥厚を認め、びまん性肺リンパ管腫症(DPL)が疑われた1例. 第119回日本結核病学会/第89回日本呼吸器学会 近畿地方会. 2017.7.9. 大阪

小谷アヤ、井上大生、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：咳嗽頸部痛に対するCT撮影を契機に再発性多発軟骨炎(RP)を疑った1例. 第119回日本結核病学会/第89回日本呼吸器学会 近畿地方会. 2017.7.22. 大阪

小谷アヤ、丸毛聡、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：肺Mycobacterium avium complex(MAC)症の診断時一般細菌培養検出菌の臨床的意義の検討. 第5回気道疾患臨床研究会 2017.8.27. 京都

森雄貴、小谷アヤ、丸毛聡、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、福井基成：低用量ステロイド内服中にニューモシスチス肺炎(PCP)を発症した1例. 第217回内科学会近畿地方会 .2017.9.16. 大阪

境内大和、白石祐介、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：慢性好酸球性肺炎に無症候性高好酸球性脳症を合併した好酸球増加症候群の1例. 第217回内科学会近畿地方会. 2017.9.16. 大阪

網本久敬、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：免疫チェックポイント阻害薬導入に際して行った当院での多職種での取り組み. 第21回関西がんチーム医療研究会. 2017.9.21. 大阪

糸谷 涼、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島

寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：抗核抗体またはリウマチ因子陽性の非小細胞肺癌患者に対する免疫チェックポイント阻害薬投与の影響。第 57 回日本肺癌学会学術集会. 2017. 10. 14-15. 横浜

白田全弘、井上大生、丸毛 聡、羽田敦子、福井基成：当院における *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis* (SDSE) 血流感染症の臨床的および細菌学的検討。第 60 回日本感染症学会西日本・中日本地方会学術集会. 2017. 10. 27. 長崎

小谷アヤ、北島尚昌、白田全弘、井上大生、丸毛聡、福井基成、吉澤和孝(新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器感染症内科)、坂上拓郎(新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸器感染症内科)：診断治療に難渋し、多剤抗菌薬併用で制御しえた播種性非結核性抗酸菌(NTM)感染症の 1 例。第 60 回日本感染症学会西日本・中日本地方会学術集会. 2017. 10. 28. 長崎

清水伸彦、原伶奈、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：両側びまん性すりガラス影を呈した 1 例。第 63 回大阪北肺疾患勉強会. 2017. 11. 13. 大阪

北島尚昌、宇山弘倫、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、高島伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：非侵襲的人工呼吸療法を導入した非結核性抗酸菌患者の臨床的特徴。第 27 回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会. 2017. 11. 17. 宮城

白田全弘、北島尚昌、福井基成：睡眠時低換気のスクリーニングにおける 3 軸加速度センサー搭載 SpO₂ モニターの有用性の検討。第 27 回日本呼吸・リハビリテーション学会学術集会. 2017. 11. 17. 宮城

福井基成：慢性期の呼吸管理の実際・慢性呼吸不全の在宅ケア。第 27 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 ワークショップ 7 「エキスパートに聞く呼吸管理の虎の巻」 2017. 11. 17. 宮城

Katayama Y, Marumo S, Uyama M, Hayashi Y, Amimoto H, Shiraishi Y, Kotani A, Hara R, Yamaki H, Shirata M, Shima H, Kitajima T, Inoue D, Itotani R, Fukui M. Symptoms contributing to the diagnosis of asthma in subacute or chronic cough patients with low levels of fractional exhaled nitric oxide. The 22nd Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology (APSR 2017), 23-26 November 2017, Sydney

Itotani R, S. Marumo, M. Uyama M, Hayashi Y, Amimoto H, Shiraishi Y, Kotani A, Hara R, Yamaki H, Shirata M, Shima H, Kitajima T, Inoue D, Katayama Y, Fukui M. The efficacy and safety of carboplatin and weekly paclitaxel combination therapy for previously treated small cell lung cancer patients with interstitial lung disease. The 22nd Congress of the Asian Pacific Society of Respirology (APSR 2017), 24-26 November 2017, Sydney
★APSR JRS Young Investigator Award 受賞

井上大生、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、片山優子、糸谷 涼、丸毛聡、福井基成：気管支拡張症・慢性気道感染症によりⅡ型呼吸不全となり終末期に長期入院を余儀なくされた60代女性の一例。第30回地域包括呼吸ケアを考える会。2017.11.25. 大阪

白石祐介、井上大生、宇山倫弘、林優介、網本久敬、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：重症気管支拡張症に伴う慢性呼吸不全の管理について考える。第30回地域包括呼吸ケアを考える会。2017.11.25. 大阪

島寛：肺癌治療の現状～免疫チェックポイント阻害薬を交えて～。第10回大阪がん薬物療法研究会。2017.12.2. 大阪

妻鹿倫征、網本久敬、片山優子、北島尚昌、井上大生、糸谷 涼、丸毛 聡、福井基成、大竹洋介、西村貴文：多発胸膜播種を来すも肺野・腹部に原発巣を見いだせず、悪性胸膜中皮腫との鑑別を要した腺癌の1例。第218回内科学会近畿地方会。2017.12.02. 神戸市

林優介、宇山倫弘、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：診断・治療に難渋し、多剤抗菌薬併用で制御しえた播種性非結核性抗酸菌 (NTM) 感染症の1例。第66回呼吸器同好会。2017.12.6. 大阪

原伶奈、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷 涼、丸毛 聡、福井基成：アルコール性肝障害に伴う肝肺症候群の1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16. 大阪

山城春華、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：右副腎転移による副腎出血をきたした肺腺癌の1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

小谷アヤ、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：同種骨髄移植後に閉塞性細気管支炎(BOS)を生じ、全身ステロイド投与せずに呼吸機能改善を認めた1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

網本久敬、北島尚昌、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：急性呼吸不全で明らかになった悪性腫瘍合併の抗ARS抗体症候群の1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

白石祐介、北島尚昌、宇山倫弘、林優介、網本久敬、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：*Mycobacterium abscessus*による過敏性肺炎が疑われた1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：非侵襲的人工呼吸療法により長期間に亘り自宅生活を継続できた重症気管支拡張症の1例。第90回日本呼吸器学会近畿地方会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

林優介、糸谷涼、宇山倫弘、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、丸毛聡、福井基成：頻回再発する誤嚥性肺炎に対し喉頭分離術を行い、長期間ADLや患者満足度が向上した1例。第90回日本呼吸器学会/第120回日本結核病学会近畿地方会。2017.12.16。大阪

網本久敬、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：autoEPAP導入でコントロール可能となった夜間低換気の症例。大阪NIPミーティング。2018.1.18。大阪

白田全弘、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成：Afatinibが奏効した

EGFR 遺伝子稀少変異同時重複陽性肺腺癌の 1 例. 日本肺癌学会関西支部学術集会.
2018. 2. 17. 大阪

山城春華、藤岡秀成、小谷アヤ、北島尚昌、宇山倫弘、林優介、網本久敬、
白石祐介、原伶奈、島寛、白田全弘、井上大生 片山優子、糸谷涼、丸毛
聡、福井基成 : Osimertinib による筋炎が疑われた肺腺癌の 1 例. 呼吸器
NEXT. 2018. 3. 2. 大阪

網本久敬、宇山倫弘、林優介、白石祐介、小谷アヤ、原伶奈、山城春華、島寛、白田全
弘、北島尚昌、井上大生、片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基成 : Invasive mucinous
adenocarcinoma にベバシズマブを投与した 3 例
の検討. 第 3 回 K・K Forefront Meeting on Lung Cancer. 2018. 3. 7. 大阪

小谷アヤ、宇山倫弘、林優介、網本久敬、白石祐介、原伶奈、山城春華、島
寛、白田全弘、北島尚昌、井上大生 片山優子、糸谷涼、丸毛聡、福井基
成 : 抗 MRSA 薬の使い分け. SACRA カンファレンス. 2018. 3. 9. 大阪

講演

丸毛 聡 : 医療連携を利用した COPD 診療～効率的な診断から薬物治療・非薬物治療まで
～. 第 360 回臨床懇話会(名古屋市中川区医師会). 2017. 4. 6. 名古屋市

丸毛 聡 : 医療連携を活用した COPD 診療～効率的な診断から適切な安定期管理まで～.
Novartis Web Live Symposium. 2017. 4. 27. 東京

丸毛 聡 : 安定期の COPD 管理について～ガイドラインの一步先へ～. COPD Summit 2017
in Sapporo. 2017. 5. 20. 札幌市

丸毛 聡 : プライマリケアに必要な咳嗽診断と喘息管理の最新の知識～ICS/LABA 配合剤
の使い分けを含めて～. 第 7 回呉西喘息治療フォーラム. 2017. 5. 25. 高岡市

丸毛 聡 : 咳嗽診断と喘息管理のスキルアップ～ガイドラインに載っていない工夫～.
Habikino Asthma Network. 2017. 6. 3. 大阪

丸毛 聡 : 医療連携を活用した喘息診療～難治例での課題克服に向けて～. 一関市喘息
治療フォーラム. 2017. 6. 7. 一ノ関市

丸毛 聡 : 医療連携を活用した喘息診療～難治例での課題克服に向けて～. 一関市喘息

治療フォーラム, 2017. 6. 10. 姫路市

糸谷 涼 : Nivolumab が奏功した関節リウマチ合併肺腺癌の一例/2nd Line で化学療法と免疫チェックポイント阻害剤、どちらを選択するか迷った一例. がん免疫療法を自由に語る会, 2017. 6. 10. 大阪

丸毛 聡 : COPD の早期診断から安定期管理まで～ガイドラインの一步先へ～, COPD Conference, 2017. 6. 20. 倉敷市

丸毛 聡 : 呼気 NO を活用した咳嗽の鑑別と喘息の管理～ICS/LABA 配合剤の使い分けを含めて～, 高槻呼吸器疾患病診連携セミナー, 2017. 6. 21. 大阪

丸毛 聡 : 呼気 NO を活用した咳嗽の鑑別と喘息の管理～ICS/LABA 配合剤の使い分けを含めて～, 喘息治療を考える会, 2017. 6. 24. 名古屋市

鈴木雅雄 : COPD 患者に対する鍼治療の効果とその果たす役割, 第 82 回日本温泉気候物理学会, 2017. 6. 24. 北海道

丸毛 聡 : 喘息外来診療の一工夫～コントロール不良例での診療手順～, 第 119 回日本結核病学会・第 89 回日本呼吸器学会近畿地方会ランチョンセミナー2, 2017. 7. 8. 大阪

丸毛 聡 : pMDI の緩徐で深い吸入療法について, 第 8 回阪神病薬連携セミナー, 2017. 7. 14. 尼崎市

丸毛 聡 : 喘息外来診療のコツ～ICS/LABA 配合剤の使い分けを含めて～, 呼吸器疾患 Seminar in Hokusetsu, 2017. 8. 5. 大阪

丸毛 聡 : 安定期 COPD の最新の管理～ガイドラインの一步先へ～, 下関市医師会講演会, 2017. 8. 23. 下関市

福井基成 : 呼吸・循環機能の評価, 平成 29 年度 意識障害・廃用性症候群の看護認定教育課程 2016. 9. 2. 札幌市

丸毛 聡 : 喘息外来診療のコツ～ICS/LABA 配合剤の使い分けを含めて～, Respiratory Education Seminar, 2017. 9. 15. 大阪

丸毛 聡 : プライマリケアに必要な咳嗽診断と喘息管理の最新の知識～ICS/LABA 配合剤

の使い分けを含めて～. 氷見市医師会学術講演会. 2017. 9. 27. 氷見市

丸毛 聡 : COPD の最新の知見. これからの COPD 治療を考える会 in Osaka. 2017. 9. 29. 大阪

丸毛 聡 : 咳嗽診断と喘息管理のスキルアップ～ガイドラインに載っていない工夫～. Asthma Workshop in 三河. 2017. 9. 30. 岡崎市

北島尚昌、福井基成 : 症例から考えるハイフローセラピーの効果と実践. 第 27 回旭川呼吸器セミナー. 2017. 10. 5. 北海道

北島尚昌、福井基成 : 症例から考えるハイフローセラピーの効果と実践. 第 24 回秋田県呼吸器ケア研究会. 2017. 10. 7. 秋田

丸毛 聡 : プライマリケアにおける咳嗽の診断と治療～咳喘息を中心に～. 門真市医師会学術講演会. 2017. 10. 12. 門真市

片山優子 : 気管支喘息の吸入療法について. 第 5 回呼吸器専門医のためのとことんセミナー. 2017. 10. 13. 大阪

福井基成 : 在宅呼吸ケアのポイント-より正確に病態を把握しより多くの人で支える-. 第 28 回在宅呼吸ケアを勉強する集い 2017. 10. 14. 岡山市

丸毛 聡 : 呼気 NO を活用した咳嗽の鑑別と喘息の管理～ICS/LABA 配合剤の使い分けを含めて～. 呼吸器セミナー. 2017. 10. 14. 名古屋市

福井基成 : 喘息の最新治療. 神戸薬科大学リカレントセミナー 2017. 10. 15. 神戸市

福井基成 : COPD の最新治療. 神戸薬科大学リカレントセミナー 2017. 10. 15. 神戸市

福井基成 : 地域で取り組む喘息・COPD 患者への吸入指導 -吸入指導ネットワークの試み-. 神戸薬科大学リカレントセミナー 2017. 10. 15. 神戸市

丸毛 聡 : 医療連携を利用した COPD 診療～効率的な診断から薬物・非薬物治療まで～. 磐田地区 COPD 学術講演会. 2017. 10. 16. 磐田市

丸毛 聡 : 医療連携を活用した COPD 診療～効率的な診断から安定期管理まで～. COPD

Up Date Forum. 2017.10.24. 岡山市

丸毛 聡：吸入指導 NEXT STAGE. COPD NEXT STAGE ～スピオルト発売2周年記念講演会～. 2017.11.1. 大阪

丸毛 聡：医療連携を活用した COPD 診療～効率的な診断から安定期管理まで～. 第23回 Single Topic Seminar in 鳴尾. 2017.11.15. 尼崎市

福井基成：経皮 CO2 モニタを活用した呼吸管理 -HOT、HFNC、NPPV の導入に際して-. 第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 コーヒーブレイクセミナー
2017.11.17. 仙台市

丸毛 聡：COPD の早期発見から安定期管理まで～エビデンスから実践へ～. 呼吸器疾患の地域連携を考える会. 2017.11.23. 浜松市

丸毛 聡：プライマリケアでの喘息・COPD の合併と鑑別～Asthma COPD Overlap (ACO) の最新の知見～. 呼吸器疾患セミナー. 2017.12.2. 大阪

糸谷 涼：脳転移症例に対するキイトルーダ(KEY)の使用経験.Lung Cancer Symposium in Osaka. 2017.12.2. 大阪

福井基成：人生の最終段階に寄り添うとは. 第2回自分らしく行ききるケア・サポートを考える会 2017.12.2. 大阪

丸毛 聡：医療連携を活用した COPD 診療～効率的な診断から安定期管理まで～. 第2回播磨地区 COPD Network Meeting～呼吸の今と未来を考える～. 2017.12.7. 神戸市

福井基成：地域で支える在宅呼吸ケア・リハビリテーション. 「呼吸ケア・リハビリテーション指導者養成研修」修了生連絡会 2017.12.8. 大阪

片山優子：上気道疾患合併喘息における辛夷清肺湯の喘息治療効果. 第11回 Osaka Respiratory Expert Seminar. 2017.12.09. 大阪

鈴木雅雄：漢方医学の基礎と臨床 ～がつつり基礎理論～. 第11回 Osaka Respiratory Expert Seminar. 2017.12.09. 大阪

糸谷 涼：Nivolumab が奏効した関節リウマチ合併肺腺癌での使用経験. 肺癌 Expert

seminar. 2017. 12. 15. 大阪

丸毛 聡：在宅療養に必要な呼吸器疾患の基礎知識. 平成 29 年度第 3 回都島区在宅療養講習会. 2018. 1. 27. 大阪

福井基成：人生の最終段階に寄り添うとは. 第 2 回自分らしく行ききるケア・サポートを考える会. 2017. 2. 2. 大阪

丸毛 聡：地域での吸入支援（指導）の標準化に向けて. おおさか呼吸器フォーラム. 2018. 2. 3. 大阪

丸毛 聡：喘息の診断から治療までのトータルコントロール. AZ Respiratory TV Symposium. 2018. 2. 14. 大阪

福井基成：慢性呼吸不全患者の病態に合わせて在宅呼吸ケアを考える. 第 23 回東京呼吸ケア研究会特別講演 2018. 2. 17. 東京

北島尚昌、福井基成：COPD における睡眠呼吸障害の評価と管理. NPO 法人 西日本呼吸器内科医療推進機構 第 13 期総会 ランチョンセミナー. 2018. 2. 24. 京都

福井基成：慢性呼吸不全患者に対する在宅呼吸ケアのポイント. 第 5 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会九州・沖縄支部学術集会ランチョンセミナー 2018. 2. 25. 福岡市

丸毛 聡：実地臨床での咳嗽の診療のポイント. 時習会学術講演会. 2018. 2. 27. 赤穂

丸毛 聡：安定期 COPD 管理の一工夫～医療連携活用の観点から～. 東三河地区 COPD 治療を考える会. 2018. 3. 7. 豊橋

北島尚昌：呼吸管理の Up to Date～NPPV と酸素療法～. 愛媛 NPPV WEB セミナー 2018. 2018. 3. 7. 愛媛

丸毛 聡：デバイスの特徴を活かした安定期 COPD 管理の吸入療法～Implementing Best Practices in Japan～. COPD Web Live Symposium. 2018. 3. 14. 東京

福井基成：息を知り、息を整える. 第 224 回龍亀会. 2018. 3. 22. 大阪

丸毛聡：吸入指導（総論）. 第 12 回吸入指導ネットワーク講習会. 2018. 3. 24. 大阪